

Press Release

令和5年5月25日

報道関係者各位

本件は東京運動記者クラブ、九州運動記者クラブ、福岡市政記者クラブ、熊本市政記者クラブ、鹿児島市政記者クラブ、そのほか関係媒体に配布します

世界水泳選手権 2023 福岡大会組織委員会

大会50日前！

世界水泳福岡大会のメダル及び表彰ボランティアウェアを公表！

世界水泳選手権 2023 福岡大会において各種目の優秀選手に授与されるメダル及び表彰ボランティアウェアを公表します。

メダルのデザインは、福岡市、熊本市、鹿児島市在住の20歳以上の方から公募し、応募21作品の中から、SUKEDACHI DESIGNの小林大助氏(※略歴は2枚目に記載)のデザインを採用しました。また、メダルリボンは、福岡市ゆかりの伝統的工芸品である博多織を採用しました。

表彰ボランティアウェアは、市内のファッション専門学校3校でデザインを募集し、応募のあった作品について審査を行い、各校1点ずつデザインを採用しました。

大会を盛り上げるため、周知・広報のご協力をよろしくお願いします。

1 メダル及びメダルリボン

(1) メダルのデザインコンセプト：「世界に広がる水の輝き」

水泳競技におけるアスリートたちの勇気や感動などの輝く想いが地域から世界に広がっていく様子をイメージし、表面は水面が輝く「コースティクス」という現象に「九州の形」を組み合わせたメダルを設計しました。デザインの光の輪の重なりに水泳競技の「明るい未来」と「人々とのつながり」の意味を込めています。裏面は大会エンブレムをベースに、アスリートや大会、地域の「進化」を表す「上昇する波」を表現しました。



※左から金メダル、銀メダル、銅メダル。左が表面、右が裏面

(2) メダルリボン(博多織)のデザインコンセプト

大会のイメージカラーであるブルーで献上柄を織り込んでおり、水をイメージしたライトブルーの縞がアクセントになっています。大会名やロゴは白で織り込んでいます。また、メダリストがメダルを掲げた時にちらりと見える裏面も表面と同じイメージで仕上げた、両面博多織仕様のデザインです。



Official Partners

Press Release

(3) 小林 大助氏の略歴

アートディレクター／デザイナー。

1979年新潟県生まれ、福岡市在住。阿佐ヶ谷美術専門学校、京都芸術大学卒業。デザイン会社を数社経て、2013年助太刀デザインを設立。九州ADC会員。九州ADC AWARD 準グランプリ、福岡デザインアワード審査員賞、A' Design Award and Competition(イタリア)“Bronze”、MA-g(スイス)“Contemporary Collection 選出”など多数受賞。

ふくや「味の明太子パッケージ」リデザインをはじめ、博多曲物のリデザイン、太宰府天満宮幼稚園ウェブサイト、壱岐リトリート 海里村上のシンボルマーク、九州大学ロバート・ファン／アントレプレナーシップ・センター(QREC)「IDEA」ロゴタイプ、湖月堂「KOGETSUDO KISSAKO hanare」のグラフィックなど、九州を中心に活動中。

2 表彰ボランティアウェア



<制作学校>

香蘭ファッションデザイン専門学校

<作品概要>

- ・グラデーションで深い水中から光さす水面を表現
- ・世界水泳のロゴを強調することで、福岡大会らしさをアピール

<担当競技>

- ・競泳、飛込



<制作学校>

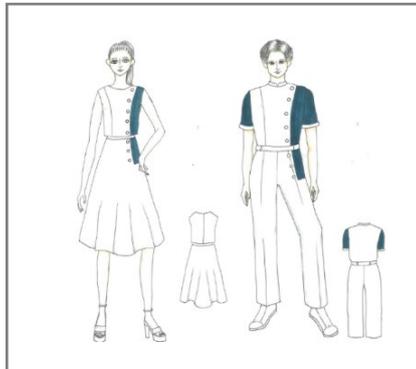
九州デザイナー学院

<作品概要>

- ・男女兼用で七宝柄を使用
- ・上から下に流れる様に差し色に無地の水色を入れることで水を表現。

<担当競技>

- ・アーティスティックスイミング、水球



<制作学校>

大村美容ファッション専門学校

<作品概要>

- ・マリンテイストをイメージ
- ・清潔感を意識し、白を基調としたうえで、ポイントでネイビーの切り替えを入れることでデザイン性を持たせた。

<担当競技>

- ・オープンウォータースイミング、ハイダイビング

<リリースに関するお問い合わせ先>

世界水泳選手権 2023 福岡大会組織委員会事務局

(市民局世界水泳担当) 中元 Tel : 092-711-4989 (内線 1814) Fax : 092-733-5742

Official Partners